

抗 RanBP2 (ヒト) 抗体, ウサギ血清

71-003 100 µl,

RanBP2 はスモール GTP 結合タンパク質 Ran と相互作用するタンパク質として同定され、多数のタンパク質と巨大な複合体を細胞内で形成している。このタンパク質は 3,224 のアミノ酸を含みウエスタンブロッティングで 360 kD のタンパク質として同定される (下図、Ref.1) このタンパク質は mRNA のプロセッシング、タンパク質の核輸送、細胞分裂後の核膜の再構築、細胞周期の制御など多機能に関与する。

本抗血清は RanBP2 の保存された 3 回繰り返し配列 SKAPKSGFEGMFTKKE の合成ペプチドを抗原として西本ら(九大)によって作られた (文献 1)。

用途

1. ウエスタンブロッティング(x 2,000 希釈)
2. 免疫沈降
3. 間接免疫法による細胞中の抗原染色

製品の性質

性状: 0.09%のアジ化ナトリウムを添加した抗血清

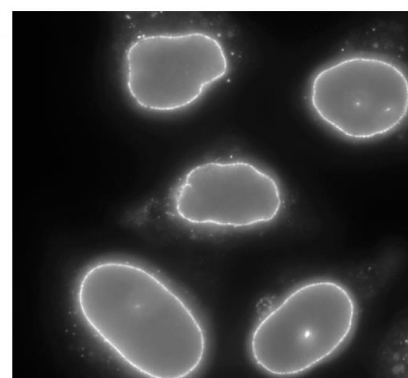
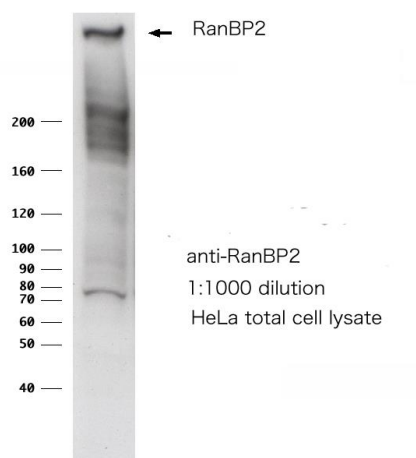
反応性: ヒト、マウス、ラット

保存: 4°C (長期 -20°C)

データリンク UniProtKB/Swiss-Prot [P49792](#) (RBP2_HUMAN)

文献 本抗体は以下の文献に使用されている。

1. Yokoyama N *et al* "A giant nucleopore protein that binds Ran/TC4." *Nature* **376**:184-188 (1995)
PMID: [7603572](#)
2. Melchior F *et al* "GTP hydrolysis by Ran occurs at the nuclear pore complex in an early step of protein import." *J Cell Biol* **131**: 571-581 (1995) PMID: [7593180](#)



Para formaldehyde fixed HeLa cells
stained with anti RanBP2 (551-2)
(1:2000 dilution)

関連商品 : # 71-003-1 pBluescript KS(+)-RanBP2 cDNA full size (問い合わせ)